

仕様一覧

【ディスク部】	
レーザー D/Aコンバーター デジタルフィルター 回転数 ワウ&フラッター 周波数特性 高調波歪率 S/N比 ダイナミックレンジ ステレオセパレーション	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード、λ=780nm) 1 Bit 8倍オーバーサンプリング 500~200 rpm (線速度一定) 測定限界以下 5 Hz ~ 20 kHz (±1 dB) 0.005 % (1kHz) 100 dB 94 dB 96 dB

【電源部 その他】	
電源電圧 (⊖アース) 最大消費電流	14.4 V (11 ~ 16V) 0.8 A

【寸法・重量】	
KDC-C520 外形寸法 (W × H × D) 質量 (重さ)	250 × 80 × 176 mm 2.0 kg
KDC-C469 外形寸法 (W × H × D) 質量 (重さ)	250 × 64 × 176 mm 1.8 kg

これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6394-8095 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間9:00~18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。

KENWOOD

CDオートチェンジャー
KDC-C520
KDC-C469
取扱説明書
お買い上げいただきましてありがとうございます。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION
©B64-2343-00/00 (JW)

安全上のご注意

お買い上げいただきましてありがとうございます。
製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例		注意	△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
		禁止	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		実施	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

取り付け上のご注意

	警告	コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。
	禁止	本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。
	実施	本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。
	禁止	アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。

	禁止	車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。
	実施	車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。
	注意	車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。
	実施	本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。
	注意	製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
	禁止	製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

注意

カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要で、安全のためにお買い上げの販売店にご依頼ください。

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼されるまえに、下記のようなチェックを行ってください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> センターユニットの電源ハーネス類が接続されていない。 車のキースイッチがONになっていない。 マイコンが誤動作している。 	<ul style="list-style-type: none"> センターユニットの電源ハーネス類を接続してください。 キースイッチをONにしてください。 センターユニットのリセットボタンを押してください。
CDチェンジャーモードにならない	チェンジャーコードが接続されていない。	チェンジャーコードを接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	急激な電源電圧変化の影響により正常に動作できない。	センターユニットのリセットボタンを押してください。
CDの演奏が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> 一時停止状態(ポーズ)になっている。 センターユニットの電源がONになっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> センター/リモコンユニットの▶▶スイッチを押してください。 センターユニットの電源をONにします。
指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする	<ul style="list-style-type: none"> CDが異常に汚れている。 CDが裏返しになっている。 CDの入れた場所と指定NO.が違う。 CDに大きな傷がある。 	<ul style="list-style-type: none"> CDのクリーニングをしてください。 マガジンをイジェクトしてCDを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトして指定CDのNO.を確認してください。 他のCDを使用してください。
音が飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> 本機が不安定な場所に固定してある。 本機に荷物があたっている。 角度調節スイッチが間違えて設定されている。 取り付けかたが悪い。 CDに傷や汚れなどが付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 凹凸の少ない場所へ取り付けてください。 荷物があたらないようにしてください。 角度調節スイッチを正しく設定してください。 “取り付けかた”を参照して取り付けを確認してください。 同じ部分で音が飛ぶ場合は、ディスクの問題です。“CDの取り扱い”の“CDのお手入れ”を参照してください。
音質が悪い(再生中雑音が出る)	<ul style="list-style-type: none"> CD自身の音質。 CDに傷や汚れなどが付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のCDを再生して問題がなければ、コンバートディスク自身の問題です。 “CDの取り扱い”の“CDのお手入れ”を参照してください。
CD-R、CD-RWがプレイできない	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

接続しているセンターユニットにより表示内容が異なる場合があります。くわしくはセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。

CDのお手入れ

長期演奏を楽しむためには、本機から取り出したCDを適切に保管する必要があります。CDは湿度や温度に敏感なため、直射日光や高温多湿の環境を避け、清潔な状態で保管してください。

CDの故障

CDの故障の原因は、主に汚れや傷、変形によるものです。特に中心穴周辺の汚れや、ディスク表面の細かい傷は、音質に悪影響を及ぼします。定期的なクリーニングと丁寧な取り扱いが重要です。

CDの取り扱い

CDを扱う際は、必ず指先で中心穴を握り、ディスク表面を触らないようにしてください。また、CDをケースから取り出す際は、ケースをしっかりと握り、CDを滑らかに引き出すようにしてください。

CDの取り扱い

CDの故障

CDの故障の原因は、主に汚れや傷、変形によるものです。特に中心穴周辺の汚れや、ディスク表面の細かい傷は、音質に悪影響を及ぼします。定期的なクリーニングと丁寧な取り扱いが重要です。

CDの取り扱い

CDを扱う際は、必ず指先で中心穴を握り、ディスク表面を触らないようにしてください。また、CDをケースから取り出す際は、ケースをしっかりと握り、CDを滑らかに引き出すようにしてください。

CDの取り扱い

CDを扱う際は、必ず指先で中心穴を握り、ディスク表面を触らないようにしてください。また、CDをケースから取り出す際は、ケースをしっかりと握り、CDを滑らかに引き出すようにしてください。

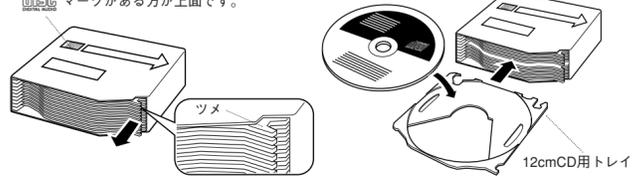
CDの取り扱い

ディスクをセットする

■ マガジンにディスクをセットする

1. マガジンをDISCマークがある面を上にし、トレイのツメを持ってマガジンから完全に引き出します。
2. ディスクのレーベル面を上に向けてトレイに乗せ、マガジンにトレイをロックするまで差し込みます。ディスクやトレイがきちんと入っているか確認してください。

DISC マークがある方が上面です。



ディスクNo.について

ディスクNo.は、下からディスクNo.1,2,3・・・6または、10です。

誤動作や故障、ディスクに傷を付ける原因となりますので、下記の項目をお守りください。

- ディスクの交換は、マガジンからトレイを完全に抜き出して行ってください。
- マガジンにトレイを入れるときに、マガジンのトレイ用のミソに段違いに入れないように注意してください。
- ディスクがない状態でもトレイはすべて入れてください。
- 付属のマガジンまたは、別売品の"KCA-M112C"(KDC-C520用)、「KCA-M612C"(KDC-C469用)では、8cmCD(シングルCD)は使用できません。また、8cmCD(シングルCD)用アダプターも使用できません。8cmCD(シングルCD)を使用する場合は下記をご覧ください。

■ 8cmCD(シングルCD)について

- 8cmCD(シングルCD)を聴くときは、別売の8cmCD(シングルCD)用マガジン"KCA-M108C"(KDC-C520用)、「KCA-M68C"(KDC-C469用)を使用してください。
- 8cmCD(シングルCD)用トレイにディスクをセットするには、ディスク脱着レバーを押して、ディスク固定レバーを広げて8cmCDを乗せます。
- 8cmCDをトレイから取り出すときも同様に、ディスク脱着レバーを押して、ディスク固定レバーを広げて8cmCDを取り出します。

8cmCD(シングルCD)用トレイと12cmCD用トレイは、どのディスクNo.の位置にセットしても使用できます。

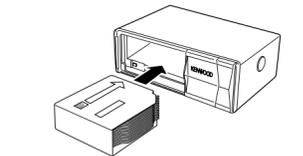
- ディスク固定レバーにディスクを確実に固定してください。ディスクが固定していないと、ディスクが脱落して故障したり、ディスクに傷を付ける原因となります。
- 8cmCD(シングルCD)用トレイをマガジンに挿入するときは、ディスク脱着レバーを押さないように注意してください。8cmCDが脱落して故障したり、CDに傷を付ける原因となります。

■ マガジンを実機にセットする

1. 本機のドアを開けます。



2. マガジンを、ロックするまで本機に差し込みます。



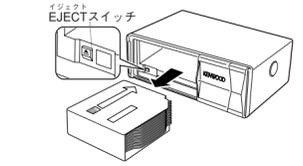
3. 本機のドアを閉めます。



- ホコリなどが入ると、レーザービックアップが汚れる原因となります。実施 必ずドアを閉めて使用してください。

■ マガジンを実機から取り出す

1. 本機のドアを開けます。
2. EJECTスイッチを押します。
3. マガジンを取り出します。
4. 本機のドアを閉めます。



● マガジンのイジェクト

マガジンを取り出すときは、ドアを完全に開いてから行ってください。ドアが完全に開いていないとマガジンがドアに当たり故障の原因となります。もし、イジェクト時にマガジンがドアに当たったときは、無理にドアを開けずに、マガジンを一旦ロックするまで差し込み、ドアを完全に開けてから再度EJECTスイッチを押してください。

■ マガジンの保存

直射日光のあたる場所など、温度が高い場所には置かないでください。変形の原因となり使用できなくなります。特に、夏の直射日光下のシート、ダッシュボードの上などは非常に高温となるため、絶対に放置しないでください。長期間演奏しないときは、本機からマガジンを取り出して、ケースなどに入れて保管してください。

- マガジンやトレイが汚れたり変形すると、故障やディスクに傷を付ける原因となります。

取り付けを始める前に

■ 付属品

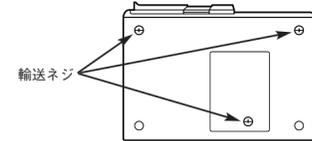
- ①ブラケット×1
- ②プレート×2
- ③テープ×2
- ④タッピンネジ(φ5×20mm)×4
- ⑤セムスネジ(M4×8mm)×4
- ⑥ナット(M5)×4
- ⑦チェンジャーコード(5m)×1
- ⑧マガジン×1



- 取り付けには付属のネジを使用してください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

■ 輸送ネジの取り外し

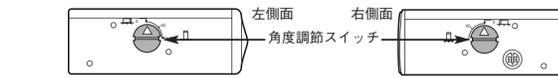
内部メカを守るために取り付けられている3本の輸送ネジを、本体の取り付けを始める前にすべて取り外します。



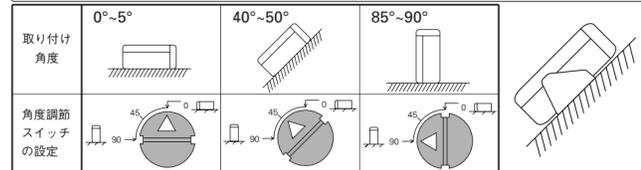
- 取り外した輸送ネジは大切に保管して、本体を輸送するときは必ず実施 輸送ネジを取り付けてください。

■ 角度調節スイッチの切り替えかた

CDオートチェンジャーを取り付ける角度に合わせて、両側面にある角度調節スイッチの矢印を取り付け角度に設定します。角度調節スイッチは、硬貨などで2か所とも同じ設定に切り替えてください。正しくスイッチの設定がされていないと、音飛び、故障の原因となります。



- 角度調節スイッチは3段階に切り替わります。0°から90°に切り替えるときは、45°の位置で一度止め、さらに切り替えてください。ロックされた状態で無理に切り替えると、スイッチが壊れるなどの原因となります。
- ブラケット①だけでは水平面に対して40°~50°には取り付けられません。下右図のようにしっかりと固定された台などを利用して取り付けてください。



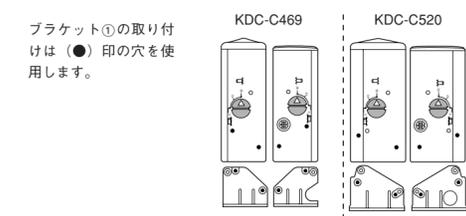
取り付けかた

注意 本機は確実に固定してください。固定しない、または不安定な取り付けをすると、衝撃などにより本機が破損、故障することがあります。

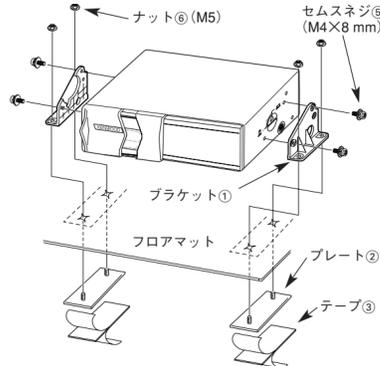
■ よこに置いて取り付ける場合

●ネジの取り付け位置

KDC-C520とKDC-C469で、ブラケット①が異なります。



●プレート②を使った簡易的な取り付けかた

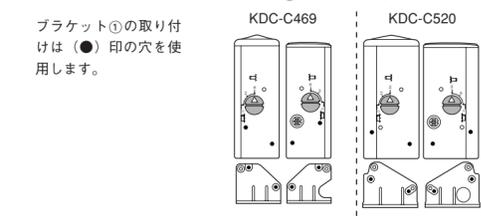


- セムスネジ⑤は最初、仮止め程度とし、ブラケット①を取り付け面に固定後、最後に締め付けてください。
- テープ③を取り付ける面は油などの汚れを拭き取ってください。また、凹凸面への取り付けは避けてください。
- プレート②を使った簡易的な取り付け方法で、万一音飛びが起きる場合は、タッピンネジ④を使った取り付け方法で車に固定してください。
- トランクルーム内に穴を開ける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

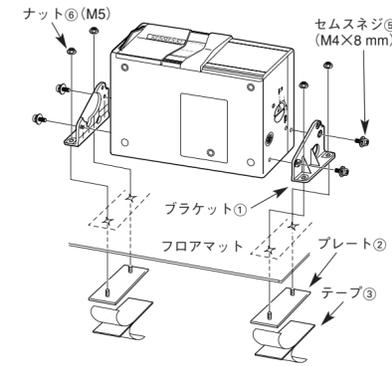
■ たてに置いて取り付ける場合

●ネジの取り付け位置

KDC-C520とKDC-C469で、ブラケット①が異なります。



●プレート②を使った簡易的な取り付けかた

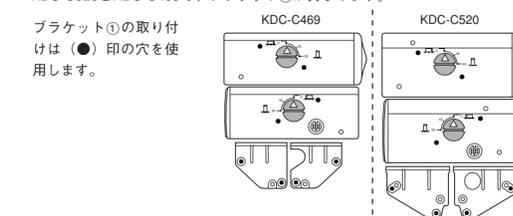


- セムスネジ⑤は最初、仮止め程度とし、ブラケット①を取り付け面に固定後、最後に締め付けてください。
- テープ③を取り付ける面は油などの汚れを拭き取ってください。また、凹凸面への取り付けは避けてください。
- プレート②を使った簡易的な取り付け方法で、万一音飛びが起きる場合は、タッピンネジ④を使った取り付け方法で車に固定してください。
- トランクルーム内に穴を開ける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

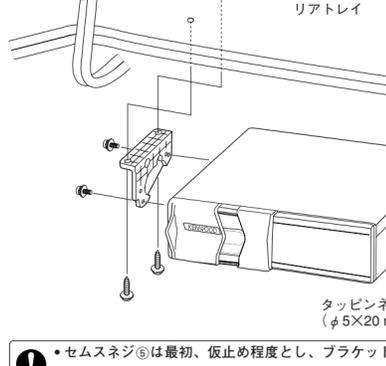
■ トランクに吊り下げる場合

●ネジの取り付け位置

KDC-C520とKDC-C469で、ブラケット①が異なります。



●タッピンネジ④を使った取り付けかた

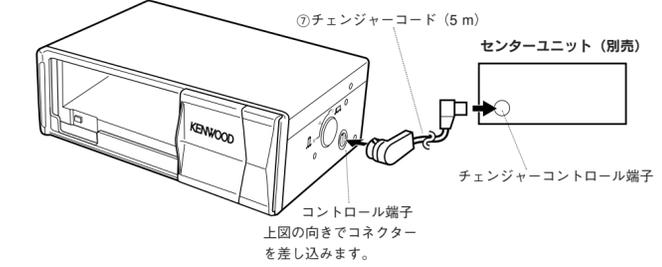


- セムスネジ⑤は最初、仮止め程度とし、ブラケット①を取り付け面に固定後、最後に締め付けてください。
- セムスネジ⑤は最初、仮止め程度とし、ブラケット①を取り付け面に固定後、最後に締め付けてください。
- タッピンネジ④を使った取り付け方法で、万一音飛びが起きる場合は、タッピンネジ④を使った取り付け方法で車に固定してください。
- トランクルーム内に穴を開ける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

リアトレイに取り付ける場合は、スピーカーの振動も音とびの原因となりますので、本機はスピーカーから離れた所に取り付けてください。またリアトレイが振動に弱い材料の場合も音飛びの原因となります。この場合はリアトレイの障など、振動の少ない場所に取り付けてください。

接続のしかた

CDオートチェンジャー



- 取り付け後は必ずセンターユニットのリセットボタンを押してください。
- センターユニットの電源が入ったままチェンジャーコードを接続しないでください。
- 本機の近くに無線機のアンテナを設置したり、チェンジャーコードの近くに無線機のアンテナケーブルを配線しないでください。電波の影響により本機が異常な動作をすることがあります。

チェンジャーコントロール操作

本機はセンターユニットに接続して使用します。操作・表示はセンターユニットで行いますので、くわしくはセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。

ディスク名前プリセットで登録できる文字数/枚数は、12文字/100枚です。(センターユニットにより登録できる文字数/枚数が異なる場合や、登録できない場合があります。)

よくお読みください

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙「ケンウッド全国サービス」をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去される場合があります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できない場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外となります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

- この製品は持込修理とさせていただきます。
- CDチェンジャーのディスクマガジンはあらかじめ取り出し、輸送ネジを取り付けてください。
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料:故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代:修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。